

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間：令和3年9月29日から令和4年2月18日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 050282 B25006	

2 福祉サービス事業者情報（令和3年12月現在）

事業所名： （施設名）箕輪町 松島保育園	種別：保育所	
代表者氏名： 町長 白鳥 政徳 （管理者氏名）園長 丸田 五百枝	定員（利用人数）：200（208）名	
設置主体：箕輪町 経営主体：箕輪町	開設（指定）年月日： 平成11年4月1日	
所在地：〒399-4601 上伊那郡箕輪町大字中箕輪10275-2番地		
電話番号：0265 79 2319	FAX番号：0265 79 2364	
電子メールアドレス：matuho@town.minowa.lg.jp		
ホームページアドレス：Town.minowa.nagano.jp		
職員数	常勤職員： 10名 非常勤職員 39名	
専門職員	（専門職の名称） 名 保育士 28名	
	園長 1名 調理員 5名	
	保育士 8名 保育補助 6名	
	調理員 1名	
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）	
	乳児室 1室	砂場、ブランコ、大型遊具、シーソー、上り棒、ジャングルジム、雲梯、太鼓橋、鉄棒、土管、築山
	ほふく室 1室	
	保育室 12室	
	調理室 1室	
	事務室 1室	
遊戯室 1室		

3 理念・基本方針

箕輪町の保育理念 子ども一人一人を大切に、保護者や地域に愛される保育園を目指します。
箕輪町の保育方針 養護と保育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。 保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。
箕輪町保育目標 1 元気よくあいさつしよう 2 自然のなかで伸び伸びとあそぼう

3 やさしい気持ちをもとう

松島保育園の理念

急がずじっくり子どもの動きを見守りながら、一人一人の持つ力を伸ばしていきます。大切にされている思いを心と肌で伝えます。

松島保育園のキャッチフレーズ

笑顔いっぱいの保育園

松島保育園目標

<たくましい子ども>

- ・元気に遊べる子ども
- ・好き嫌いなく何でも食べる子ども
- ・規則正しい生活のできる子ども

<やさしい子ども>

- ・思いやりのあるこども
- ・感動できるこども
- ・感謝の気持ちのもてる子ども
- ・物を大切にできる子ども

<自分で考え、行動できる子ども>

- ・挨拶のできる子ども
- ・話の聞ける子ども
- ・善悪が判断できる子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

松島保育園は、箕輪町の中心に位置し、平成11年4月に松島西保育所と松島東保育所が統合され現在に至っており、文化センター、図書館、博物館、消防署、中学校などの町の文化施設に隣接した町で一番大きな保育園です。

定員は200名で入所児童は208名と箕輪町8園の中では最も大きな保育園であり、長時間保育、乳児保育、未満児保育、障がい児保育、ふれあい保育、育児相談・未就園児への園開放(のんたん)を行っている。また町で唯一土曜保育を行っている。

箕輪町では「箕輪町第5次振興計画(2016年~2025年)及び「箕輪町子ども・子育て支援計画(令和2年~令和7年)」が策定されている。松島保育園ではこの計画に基づきランドデザインを作成し保育園保育方針や保育目標を実現するためひと味ちがう箕輪の子育ての育成事業の推進している。

【特色のある保育】

みのわっ子チャレンジ事業

五感を使い、遊びを広げる

土だんご・泥あそびスペース

花壇づくり

絵本に親しむ

子どもの健やかな成長のために(運動遊び講習会)

外遊びでは、園周辺から天竜降園まで年齢に合わせ、また異年齢で出かけている。今年柳沢プログラムを取り入れた運動遊びに力を入れている。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回が初めて
---------------	--------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に良いと思う点

地域の子育ての拠点として積極的に子育てを支援

松島保育園は、箕輪町で一番大きな保育園となっており利用人数や職員数が多く、7時半から18時半まで時間外保育、土曜保育等幅広い保育サービスを提供している。また、未就園児と保護者対象に開放（のんたん）されている。保護者の様々な子育てや悩みの相談に応じており核家族が進む中で相談できる心強い存在になっている。外国人についても箕輪町ではポルトガル語によるニュースレターの発行や通訳の派遣も整備されている。職員体制は園長、統括主任、補助保育士を含め保育士49名、給食調理員6名と充実している。箕輪町で推進しているゼロカーボン、DX（デジタルトランスフォーメーション）、SDGsについて保育の中でできることを検討し始めており地域の拠点としての役割を担い、子育て支援に積極的に取り組んでいる点が長所として評価できる。

笑顔いっぱいの保育園

どの保育士も全員が笑顔で挨拶し元気で明るく園児も元気な声がいっぱい聞こえている。特に外遊びでは、散歩は異年齢で積極的に行われている。保育園の周辺は散歩に適した環境が整っており松島神社、博物館、伊那松島駅、文化センター・消防署といった他の地区にはない施設が多く、みのわ天竜公園、深沢公園等の自然に恵まれ園児も笑顔で元気に散歩を楽しんでいる。また広い園内の敷地には畑があり、さつまいも、だいこん、きゅうり、なす等を育て五感を使って収穫している。収穫した野菜は昼食に提供され食育の中で地産地消への理解にもつながっている。園の特色として様々な感覚を使った遊びを計画的に取り入れ、楽しみながら体を動かすことで子どもの心と体の成長に取り組んでいる。0歳児から5歳児まで年齢に応じ計画的な運動遊びを毎月実施し、保育士間の情報共通や園内研修に努めている。園庭にはさまざまな遊具が充実しており、鉄棒の逆上がりが苦手な子どもが保育士の指導で10分後にはできるようになり遊びの中で、園児は達成感や充実感を感じ取れる姿を見て取れた。更に日課として乾拭きの雑巾がけも元気よく笑顔で行っている。松島保育園ではキャッチフレーズ「笑顔いっぱいの保育園」を総合的に実施している点が良い点として推奨できる。

業務支援システムを導入しITC活用で園の運営を改善

箕輪町では全園で令和元年度から「箕輪町保育園業務支援システム」を導入している。導入の目的は園児の台帳管理、健康記録、登降園管理、年間計画作成などの業務を支援するシステムを導入することにより、保育士の業務負担軽減を図り、保育士がさらに保育の質の向上に取り組み、よりよい保育サービスの提供を行うものである。令和2年から導入が始まり、2年目を迎えている。クラウドシステムにより、ノートパソコンやタブレットによりセキュリティに配慮し、保護者もアプリでスマートフォンを使用し連絡ができるようになっている。出席簿、健康管理、発達記録、指導計画等が標準化されている。月間指導計画、週間指導計画は園全体で共有でき反省や評価も丁寧に行われている。災害対応でも、その効果を発揮できると期待できる。他の市町村と比較して先駆して取り組んでおり特に良い点として推奨できる。

特に改善する必要があると思う点

園児が散歩で利用する道路の安全強化

松島保育園は箕輪町の中心地に位置し、交通量も多い地域に立地している。また、園外の遊園地での外遊びや近隣の公園への散歩に出かけている。令和元年5月に大津市で散歩中の大勢の園児が死傷する事故が発生した。園では、これら散歩コースの危険調べを実施し、危険個所を洗い出し安全な散歩ができるよう取り組んでおり、保育士に周知されている。

松島保育園では危険マップを作成し、危険個所の洗い出しと共通認識を図っている。大津市では事故後「キッズゾーン」の設置を全国に先駆けて設置する事例が報告されている。園児の散歩コースについては、道路の速度を制限する「ゾーン30」の指定やその道路を通行する運転手等には速度制限について明示する路面標示を増やしたり、また「スクールゾーン」に準じ、時間帯を限定し歩行者の専用道路にするなどの「キッズゾーン」の設置、「スムーズ横断歩道」等の横断歩道、道路の塗装、速度制限、ガードレールや反射鏡の設置など歩行者の安全について、さらに自治体、中部小学校、地域住民、警察、道路管理者と協力して取り組むことを期待する。

事業継続化計画（BCP）の検討

松島保育園で考えるリスクには、登校時の事故、アレルギー事故、誤飲、午睡時の突然死症候群（SIDS）、保育中の事故や不審者の侵入がある。アレルギー事故では、トレイや机の区分、除去食確認票の確認を実施している。誤飲では床などにある口にを入れるものを注意、SIDSでは午睡チェック表やうつ伏せ寝にならないよう注意し保育中の事故では危険なものを置かないようにしKYT（危険予知トレーニング）を活用し更に不審者の侵入では門扉の閉鎖や玄関の施錠管理を実施している。非常時の対応マニュアルが作成され定期的な避難訓練（火災、地震、不審者対応）や非常食の備蓄が行われている。園から保護者に対しさまざまな情報発信をされているが、不審者の対応についてはアンケート結果から園での対応の情報提供やコミュニケーションの取り方について改善の余地があると考えられる。また、さまざまなリスク（地震、台風、水害、新型コロナウイルスの流行等）の発生が予想される。これら緊急事態が発生した際に、被害を最小限に抑え、一刻も早く保育事業が再開できる対策や方法をまとめた事業継続化計画（BCP）の策定について検討されることを推奨する。

利用者が意見を述べやすい環境の整備

第三者評価受審に伴い実施した保護者アンケートでは、保護者から園の保育内容や施設管理に関わる、園への期待を込めた多くのコメントが寄せられている。評価項目にもあるように、自ら利用者（保護者）アンケート等を実施する事により、これらの声を受け取る事ができる。特に匿名のアンケート実施や「コドモン」を利用したアンケート等による要望をさまざまな方法で保育の質に関わる情報を入手することを期待する。

- 7 事業評価の結果（詳細）と講評
共通項目（別添 1）
内容評価項目（別添 2）
- 8 利用者調査の結果
アンケート方式の場合（別添 3 - 1）

- 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）

（令和 4 年 2 月 16 日記載）

評価項目の中には何をどのように答えたら良いのかわからないことが多くありましたが訪問の時に細かく説明いただき自分の専門用語に対する勉強不足を実感しました。

評価を受けたことで保育（福祉）サービスの提供の難しさを感じます。保護者アンケートを見ると自分では「やっていたつもりが」ということもあり伝え方の難しさを感じます。利用者が多い分いろいろな考え方の方もあると思うので今後の課題とします。

今年度実施されドキドキでしたが、とてもわかり易く質問して下さり助かりました。最後になりましたが訪問中にも関わらず来客などで中断することが多くなってしまった点をお詫びします。